



伊藤氏（右端）ら

移乗ケアアシストの実演を視察する

愛知・豊田市

公明党愛知県本部の
伊藤涉代表代行（前衆
院議員、次期衆院選予
定候補＝比例東海プロ
ツク）と党愛知県議団
（鬼頭英一団長）および党豊田市議団（小島
政直幹事長）はこのほど
介護・医療分野に
おける最先端のロボッ
ト技術の現状を探るた
め、豊田市にあるトヨ
タ自動車広瀬工場を訪
ね、関係者から話を聞
いた。するロボットのこと。
同社は先ごろ、介護
・医療分野でのロボッ
ト技術の活用を想定
し、これまで自動車製
造などで培った高速・
高精度のモーター制御
技術や、一足歩行ロボ
ット開発の分野で蓄積するロボット部長
は、今回の開発が「医
工連携」である点を強
調。藤田保健衛生大学
(豊明市)やトヨタ記
念病院(豊田市)と連携し専門医療機関の意
見を取り入れること
で、「技術者が開発しト」や、介護者のペッ
ドからトイレまでの移
動にかかる負担を減ら
す「移乗ケアアシスト」
などの実演を視察し
た。伊藤氏は、介護・医
療分野での活用が期待
される最先端技術の開
拓者として、注目される
こと。伊藤氏は、「ものづ
くりの新たな分野を開
くものであり、政策的

介護・医療で「医工連携」

伊藤氏、党県議団らが視察

人ととの共生めざす
ロボット技術の現状探る

同社は「パートナーロボット」という概念を提唱。これは人と接触した際、ケガをする危険があることから柵で隔離していた産業用ロボットのイメージを転換せるもので、人の役に立ち、人と共存する。

同社の玉置章文代表は、「これまでの安定性の高い歩行制御技術とセンサー技術を導入した四つの『パートナーロボット』を開発。2013年以降の実用化に向けて、実証を開始していく。

伊藤氏ら一行は、こうした説明を受けた後、ひざ付近に取り付け、下肢まひなどにより歩行が困難な人を助ける「自立歩行アシス

ト」や、介護者のペッドからトイレまでの移動にかかる負担を減らす「移乗ケアアシスト」などの実演を視察した。

発現場を見

て回り、「日

本のものづくりの新たな分野を開くものであ

にも後押ししていく取

り組みだと痛感した」と語った。また視察後、鬼頭団長らは「ものづくりの全国的な集積地である本県で、党県議団として最先端技術への育成支援を推進していきたい」と述べた。